

令和 7 年 3 月 12 日
教育振興部光が丘図書館

練馬区子ども読書活動推進計画（第五次）（素案）に寄せられた
主な意見と区の考え方について

1 意見の受付状況

(1) 意見募集期間

令和 6 年 12 月 11 日（水）から令和 7 年 1 月 15 日（水）まで

(2) 周知方法

ア ねりま区報（12 月 11 日号）への掲載

イ 区ホームページへの掲載

ウ 区立図書館ホームページへの掲載

エ 区民情報ひろば、区民事務所（練馬を除く）、区立図書館（南大泉図書館分室を除く）での閲覧

オ 区立小中学校の児童・生徒用タブレットパソコンの「ブックマーク」から閲覧

(3) 意見件数

127 件（87 名・1 団体）うち子どもからの意見は 89 件（80 名）

2 寄せられた意見に対する対応状況 （）内の数値は子どもからの意見数

項 目	件 数
◎ 意見の趣旨を踏まえ計画に反映するもの	7 (3)
○ 素案に趣旨を掲載しているもの	87 (74)
□ 素案に記載はないが他の施策・事業等で既に実施しているもの	13 (3)
△ 事業実施等の際に検討するもの	7 (1)
※ 趣旨を反映できないもの	2 (0)
－ その他、上記以外のもの	11 (8)
合 計	127 (89)

3 寄せられた主な意見と区の考え

No.	意見の概要	区の考え方	対応区分
第4章 第五次計画目標指標			
1	学校図書館の貸出冊数が目標に設定されているが、児童生徒数が考慮されていないため妥当性が分からない。児童生徒一人当たりの冊数等にしないと比較できない。	より分かりやすくするため、学校図書館の貸出冊数に、生徒一人当たりの貸出冊数を追記します。	◎
2	乳幼児への電子書籍貸出件数の目標を600件としているが、乳幼児に電子書籍を与えることについて、議論が必要だと思う。	乳幼児に電子書籍を見せる際は、保護者と一緒に利用することを想定しています。電子書籍は外出の際等の利便性が高いこと、画面の拡大等もできることから障害児の利用に際しても利点があります。保護者と一緒に使いながら、デジタル機器との上手な付き合い方を模索していくことで、電子書籍は有用なものとなりえると考えます。今後、子ども読書活動推進会議等で検討します。	△
第5章 子ども読書活動推進のための取組			
Ⅲ 図書館			
3	子どもだけが落ち着いて座って本を読めるスペースや気兼ねなく読み聞かせができる親子のスペースを各図書館に増やして欲しい。静かにさせなくてはいけないと思って図書館に子どもを連れて行くのを躊躇ってしまう。 大人が机椅子を占領していることが多いため、子ども専用の机と椅子を増やしてほしい。	児童コーナーでは読み聞かせをしていただくことが可能です。今後、改修工事の際に順次児童コーナーの充実を図っていきます。また、会話可能な時間・場所を設定して子ども連れの保護者が気兼ねなく図書館を利用できる環境をつくります。	○

No.	意見の概要	区の考え方	対応 区分
IV 地域			
4	ボランティアのマッチング事業に関連して、図書館以外で研修を受けた読み聞かせボランティアにも、定期的なフォローアップ研修の実施と、ボランティア同士の交流の場を設けてほしい。	図書館の養成講習会を受講していない読み聞かせボランティアについては、希望者にボランティアフォロー講習会への参加を案内し、講習会後に交流会の実施を検討する旨を追記します。	◎

4 子どもからの主な意見（要旨）と区の考え方

No.	意見の概要	区の考え方	対応 区分
計画全体に関すること			
1	読書をしている人が減っているなかで、様々な取組をされていてよいと思う。私は読書が苦手だけど、少しでもたくさんの本を読んで協力したい。 (ほか同じ意見 9 件)	読書により知識や表現力を身につけることは、すべての学びの土台となります。みなさんに本を読む楽しさを知ってもらうために、図書館や学校、地域の施設で様々な取組をしています。小中学校や図書館では本を読んでクイズに答えるイベント「本の探検ラリー」や、図書館内を探検しながらクイズを解く「図書館たんけんたい」等を行っています。色々なイベントを通して図書館のことや読書の楽しさについて知ってもらえるよう、ポスターやチラシも活用します。	○ ○ ○
第5章 子ども読書活動推進のための取組			
II 学校			
2	タブレットなどの電子機器を使うことによって手軽に読書することができるようなのではないかと思った。	令和7年度までに、学校内のネットワークをWi-Fi化し、通信環境を強化します。これに合わせて、区立	○

No.	意見の概要 いけん がいよう	区の考え方 くのかんが かた	対応 たいおう 区分 くぶん
	そして毎日読むことによって国語の読み取る力などがつくのでよい取組だと思う。 (ほか同じ意見15件)	小中学生に「ねりま電子図書館」を利用できるアカウントをお渡しします。これからコンテンツを増やしていくのでたくさん読んでください。	
Ⅲ 図書館 としょかん			
3	図書館でしゃべれる場所を作るのは友達と本の感想を共有することができたり、赤ちゃんが泣いてしまっても気にしないでよいからしゃべれる図書館という取組に賛成する。 (ほか同じ意見22件)	静かに本を読んだり、友達と楽しく勉強したり、本の感想を伝えあったりするなど、図書館ではいろいろな過ごし方があります。会話のできる時間や場所のルールを決めて、みなさんが居心地よく過ごせる図書館にします。	○